

もりおか復興応援フリーマガジン

Stitch

[ステッチ]

TAKE
FREE

vol.11
2014.03.11

発行 / 株式会社ラヂオもりおか

「明日」のつくり手は、
私たちだ。

[特集]

私たちは今、未来の途中。
3回目の3月11日に寄せて

インタビュー
銀次 (プロ野球選手)

発行日 / 2014年3月11日
発行・企画・編集 / 株式会社ラヂオもりおか
〒020-0871 盛岡市中 / 橋通1-1-21
TEL.019-621-7110 FAX.019-621-7153
デザイン / 冬部幸治 (創造集団 志庵)
印刷 / 山口北州印刷株式会社
Special Thanks / 取材、制作にご協力いただいた皆様

※取材、撮影、制作など本誌作成にご協力いただいた皆様に厚く御礼申し上げます。
※掲載されている情報は平成26年2月25日現在のものです。発行後の情報変更につきましてはご容赦ください。
※このフリーマガジンは、盛岡市の復興推進広報事業によって発行されています。※無断転載禁止



「明日」のつくり手は、
私たちだ。

あの日、私たちは思い知った
「明日なんて、どうなるかわからない」

このまま続くと思っていた毎日
ぼんやりと心に描いていた未来は
現実感のないままに
目の前で流されていった。

高台から見下ろすと
なにもかも失ったように見える私たちのまわ
りには、このから、ほの空間に
詰め込めるだけのこれからの希望と可能性を。

もういちど毎日を積み重ねよう
なりたい未来を、思いきり描こう。

どうなるかわからない
思い通りにならないかもしれない
だけど、私たちの明日は
私たちがちゃんと、つくりたい。

もりおか復興応援フリーマガジン
[ステッチ]
Stitch
vol.11 2014.03.11

- 02 「明日」のつくり手は、私たちだ。
- [特集]
- 04 私たちは今、未来の途中。
3回目の3月11日に寄せて
- 11 追悼・献花ができる場所
- 12 三陸うまいもん紀行 カレー編
- 14 インタビュー 銀次 (プロ野球選手)
- 18 三陸沿岸と内陸の絆をつなげる
「未来へ届ける歌」
- 22 Re:stitch ~読者のみなさんから~
- 23 プレゼント

私が支配人を務めている「キャピタルホテル1000」は、2013年11月1日、この高台に「復活」オープンしました。震災前、ホテルは海のすぐそばに建っていて、私はその近くにあった飲食店「海鮮処ひとかべ」で、13年間女将をしていました。

高田のまちをまるごと飲み込んだ津波で、あの大きなホテルも、私の店も全壊しました。私はギリギリのところまで助かり、避難所に身を寄せ、中学生だった子どもと両親を抱えて「これからどうするべきか」をずっと考えていました。まずは仕事を探さなくちゃ……。頭では分かっています。でも、どこかに勤めるといふ気持ちにはどうしてもなれませんでした。女将の

仕事が好きだったんです。ただどのお店はもうなくなっちゃって、1日のなかで気持ちが浮いたり沈んだりしました。「頑張っ。早くお店を再開して」。そんな励ましの言葉も、当時は苦しかった。だんだん、人に会うことも辛くなってきました。

2011年の12月、ホテルの経営に携わっていた小山剛合（現取締役会長）から突然電話が来て「ホテルを再建する。支配人になってもらえないか」と言われました。震災前は第三セクターで運営するホテルでしたが、株式会社として、自分が建て直すから、と。小山さんはうちのお店の常連さんで、私のことをよく知っているし、私も信頼し



「キャピタルホテル1000」は、山を拓いてつくった高台に、目印のように建っている。

1 My future

人首ひとびとますますすよよさんさん「キャピタルホテル1000 支配人」

陸前高田の「いま」を見渡すこの場所で
まちの未来を見つめていきたい。

特集

私たちは今、未来の途中。

—3回目の3月11日に寄せて—

東日本大震災が発生した2011年3月11日から、3年が経ちました。あなたにとって、この3年間は「もう」「まだ」それとも「やっと」？ 今回の特集では、被災地の未来を見つめ、支え、創ろうとしている7人に、それぞれの3年間、そして思い描く未来について伺いました。

それぞれが感じる震災3年 震災から3年、今感じていることをメッセージで寄せてもらいました。

- I.U (千葉県) 昨年まで、岩手にお世話になりました。これからも、お会いした皆様のこと、ずっと応援しています。
- M.Y (盛岡市) 震災前は沿岸の市町村名が分かりませんでした。今ではそれぞれに知人や友人がいます。出会いに感謝。
- S.I (盛岡市) 命の絆を日々噛み締め新しく再生する街並が人々の希望に溢れることを祈り復興の灯を消さぬよう語り合いたい。

- R.O (奥州市) 最近の報道を見ると既に震災の事は忘れ去ったかのように感じる。被災された皆さんの声をもっと聞いてほしい。
- A.T (滝沢市) 復興支援をしていく中で上手くいかないことも沢山ありますが、これからも想いをつないでいきたいです。
- T.K (盛岡市) 哀しみから立ち上がり力を合わせている人々への尊敬の念でいっぱいです。私も希望を未来へつなげていきたい。

た、というのも理由のひとつ。私、本当にギリギリのところまで助かったんです。生かされた命をどう使うか。それならまちの未来のために使おう、って。

そしてなにより、逆境に立ち向かう姿を子どもたちに見せたいと思いました。「お母さんが（やりたいなら）決めればいいよ」って背中を押してくれた家族の存在は、やっぱり大きいですね。

2012年6月、正式に「キャピタルホテル1000」の再建が決まり、支配人に就任。開業に向けた準備がはじまりました。「ホテルをどこに建てるか」というところから、従業員の確保、研修、そのほかホテル業務のいろいろなこと。やらなければいけないことは常に山積みでしたが、「被災地だから」「未経験だから」と甘えるわけにはいきません。みんなで頑張る準備を整え、なんとかオープンの日を迎えることができました。



フロント業務から宴会、結婚式。忙しい毎日だが「人と接することが好き」と笑顔を絶やさない。

当ホテルは、宿泊や宴会はもちろんです。チャペルも設置しているので結婚式を挙げることもできます。「やっつ、大勢が集まれる場所ができた」「泊まれる場所ができた」……。みなさんにそう言ってもらえることが、本当にうれしいです。

必要としてくれる場所があるうちは、岩手をもっと楽しくするお手伝いをしたい。



臂徹さん [Next Cabinet IWATE 専務取締役]

2011年3月11日午後2時46分。僕は東京にいました。建設コンサルタントとして国土交通省との打合せをしていたときでした。大型ビジョンに映し出される津波に茫然としながら、自分のなりわいである建設技術に限界を感じたことを覚えています。

その2ヶ月後、会社が受託した調査事業の担当に立候補し、大植に入りました。期間は8ヶ月。会社員として津波の破壊度の調査やまちづくりワークショップの開催に携わる一方、知り合った地元青年たちと復興まちづくりを推進する「おらが大植夢広場」を設立。事業の企画立案や資金調達などを担当しました。

高齢化、過疎化の進むまちは、

いずれ衰退する。大植に来る前はそう思っていました。でも、全然違った。こんな小さなまちにもかけがえのないアイデンティティがあり、地域は守るべきものなのだと感じました。クライアントを紹介するのではなく、ここに暮らす人の反応が直接感じられる立場で復興をサポートしたい。そんな思いが強くなり、事業の終了とともに会社を退職。2012年4月、「おらが大植夢広場」の事務局長に就任しました。

復興に関わる活動を通して多くの人に出会いました。なかでも「岩手をよりおもしろくしよう」と意気投合した人たちと「岩手若手会議」というグループを作り、定期的に集まってはアイデアを出し合っ

現在のところこのホテルだけ。高台にあるので見晴らしがいいでしょう？ でも、地元の人がこの景色を見たら悲しいだろうなと思うんです。本当に全部無くなってしまったから。だけど、ホテルはこれだからずっとこの場所にあるよ、いつでも笑顔で待っているよって、伝えたい。地元のみなさんが少しでも元気になったり、ホッとしたりできる場所にするのも、このホテルの役割だと思っています。「不備」や「不便」、そして「不安」もやっぱりありますが、もともといいホテルにしていけるよう、力を尽くしたいと思っています。

これから復旧工事やかさ上げ工事が進むにつれ、まちの景色もどんどん変化していきます。観光や仕事で陸前高田にいらっしゃるお客様も、ここから見える「陸前高田のいま」に思いを寄せ、復興への道のりを見守ってくれたらうれしいです。

できました。現在は、そのメンバーを中心に「Next cabinet IWATE」という会社を設立。「おもしろい」地域づくりやビジネスを展開していく予定です。

まちづくりの主役は、あくまでも地域の人たち。そのお手伝いをする立場として必要としてくれる場所があるうちは、ここで岩手の可能性を広げていきたい。こちらに来て覚えて冬の楽しみ方も、あと何回かは経験したいですね。



大阪で開催された物産展「東北わくわくマルシェ」にて。盛岡、沿岸、そして全国各地を飛び回り岩手の魅力を発信中。

それぞれが感じる震災3年 震災から3年、今感じていることをメッセージで寄せてもらいました。

- T.O (福島県) 被災地が抱える問題の解決は日本の将来にも通じると考える。震災を経験した私たちはより良い社会を創れるはず。
- E.W (盛岡市) 復興の進捗をもどかしく思うこともありますが一つひとつの積み重ねが大きな成果につながるものと信じています。
- H.W (盛岡市) 震災で実家が被災した私が、若者に伝えたいこと。「もっと実家に帰ろう」「面倒くさらずに家族と話そう」。

- T.T (東京都) ☆ふるさとの復興を願い、支援を続けていきます。被災者の皆様、明るい未来を信じて頑張ってください☆
- J.S (盛岡市) 私はあの日以来、自分の生まれてきた役割は何なのかを真剣に考えるようになった。孤独な人の力になりたい。
- S.M (盛岡市) 沿岸部に赴く度に復興が進んでない胸を締め付けられます。今年こそは目に見える良い変化がありますように!



葛巻徹さん
【いわて連携復興センター事務局長】



2011年3月11日以降、県内外のさまざまなNPOが被災地に入り、支援活動を行いました。しかし情報の偏り、団体間のネットワークが形成されていないことなどから、支援が行き届かない、あるいは重複してしまうなどの混乱が生じていました。

この状況を改善するため、「情報共有と連携の場」をつくらうと、県内の中間支援NPOが集まり立ち上げたのが「いわて連携復興センター」です。設立は2011年4月28日。本部は釜石市、事務局は北上市のサテライトオフィスに置いています。私は会社勤めをしながら加盟団体のひとつでボランティアスタッフをしていたのですが、センター設立時に会社を辞

「関わり」を持つことで生まれる復興への思いを後押ししたい。

め、専任の事務局長に就きました。気がつけば3年。何があつたかすぐに思い出せないくらい忙しい日々でした。支援のニーズは、高齢化やコミュニティの断絶、産業の衰退といった「震災で加速した地域の課題」へシフトし始めています。これらの取り組みは、同じような課題を抱える内陸にも活かされるはず。「課題先進地」である被災地での活動を通して、地域づくりの担い手も増やしていけたら、とも考えています。

おいしい魚介類、ものづくりに伝統芸能。沿岸地域が復興しなければ、岩手はこれらの「資源」を失ってしまいます。「行く」「参加する」「支える」「紹介する」…どんなカタチでもいい、自発的に被災地と「関わり」を持ってほしい。そうすることで、一人ひとりの復興への思いが生まれ、広がっていくのだと思います。



八重樫綾子さん
【いわてGINGA-NET代表】



東日本大震災が起きたのは大学3年生の春休み。私は「岩手県立大学 学生ボランティアセンター（通称ボラセン）」のメンバーでした。

ボラセンでは以前から「岩手に災害が起きたら」を想定した取り組みを行ってきたこともあり、すぐに地域住民の安否確認などを実施。10日後には被災地に入り、災害ボランティアセンターの運営支援を行いました。

5月には沿岸南部の被災地に隣接する住田町に滞在拠点を置き、長期休みなどを利用して全国からやって来る学生ボランティアの受け入れを開始。「いわてGINGA-NETプロジェクト」と名付け、仮設住宅でのコミュニティ形成の支援などに携わりました。

「つなぎ手」となり新しい可能性を紡ぎたい。

私たちと同じ学生たちが、それぞれに「想い」を持って全国から集まってきてくれる。この流れを途切れさせたくない。安定して継続できる場をつくりたい。それが、特定非営利活動法人「いわてGINGA-NET」を立ち上げたきっかけです。阪神・淡路大震災を機に設立されたNPOとの出会いも、その後押しをしてくれました。

大学4年生だった2012年2月に法人を設立。以来、私は代表として「学生と地域」「学生と学生」のつなぎ役をしています。参加した学生が「自分の地域で何ができるか」を考え、大学でチームを結成したり、愛知では大学間の連携が生まれるなど、新しい「つながり」も生まれ始めました。こうした場所や世代を超えたつながりが、どんどん広がっていったらいいな。それを生み出す「場づくり」を、これからもしていきます。

それぞれが感じる震災3年 震災から3年、今感じていることをメッセージで寄せてもらいました。

- E.H (東京都) 遠く離れていても東北へ想いを馳せている方はたくさんいます。頂いたご縁を大切に、ともに頑張ります。
- M.K (盛岡市) 震災ボランティアのときにつながった人たちと、5年後10年後もずっとつながっていられたらと思っています。
- T.M (盛岡市) 新しく災害が起こるたびに記憶は書き直される。5年後はその日が来ないと思いきやなくなっているのではないだろうか。



菅野恵さん【Laugh代表】

このまちで、私ができること。日常に彩りを添える「ちよつといいもの」を届けたい



田「神田葡萄園」のぶどうの皮からエキスを抽出。無添加にこだわって作った自信作です。

去年と一昨年の記憶がごちゃ混ぜになるくらい、走り続けてきた3年間。でもお店も、私の挑戦もまだ始まったばかり。将来は市内にいくつかのお店を持ち、「ここで働きたい！」って思ってもらえるような、若い人の雇用の方も生み出せたらな、と考えています。

震災から2週間後、やっと戻ることができた高田のまちは、現実感がないほど変わり果てていました。「自分でできることはなんだろう」。考えてもわからなくて、東京に戻っても、もどかしい思いはずっと消えませんでした。

震災から2週間後、やっと戻ることができた高田のまちは、現実感がないほど変わり果てていました。「自分でできることはなんだろう」。考えてもわからなくて、東京に戻っても、もどかしい思いはずっと消えませんでした。

「高田に帰ろう。仕事がなくとも、自分で見つけよう」。そう決意を固めた頃、地元にいる母との電話で仮設商店街のテナント募集の話聞き「自分の店を持つ」として決めました。2012年の4月に帰郷し「岩手・陸前高田未来商店街」に、衣料雑貨や石けん、キャンドルなどを扱うセレクトショップ「Laugh（ラフ）」をオープンさせました。

お店に並ぶのは「生活必需品」ではないけれど、日常がちよつと華やいだり、心が弾むような商品たち。2013年には、ゼリーみたくいな感触がユニークなオリジナル石けん「ラフぷるん」も発売。マスカットサイダーで有名な陸前高



黄色の壁とイラストがかわいらしい「Laugh」の店舗と、笑顔がキュートな菅野さん。コンテナの外装は東京時代の友人が手伝ってくれた。

- K.N (東京都) いろいろな支援があるけど、常に前向きになる元気と勇気は送り続けたい。それが最大の支援だと思う。
- E.W (盛岡市) 宮城沿岸出身で震災時福島県に暮らしていた。実家は流され掛けそうな時、支えてくれた人達の事を思い出す。
- C.S (宮古市) 復興とは自立する事。高い防潮堤と借金だけが残る町にだけはしたくない。早速自立の準備を始めよう。
- Y.K (盛岡市) 震災前以上のより良い地になれるよう願っています。そして自分にできる復興活動をこれからもしていきたい。

シリーズ「3.11」を知る ④

追悼・献花ができる場所

震災から3年が経過し、震災の風化が懸念される一方で、「被災地を訪ねるので、追悼・献花ができる場所を知りたい」という声も聞かれます。今回は被災地以外の人も訪問しやすい場所を紹介します。



陸前高田市

- 一本松 陸前高田市気仙町砂盛176-6
- 旧道の駅「陸前高田タビック45」慰霊碑 陸前高田市高田町古川28-5
- 普門寺 慰霊碑 陸前高田市米崎町字地竹沢181

宮古市

- 常運寺 平成の津波碑「海嘯物故者諸々霊」 宮古市田老館が森140

大槌町

- 旧大槌町役場庁舎 上開伊郡大槌町新町1-1
- 三陸ふじのくに絆ハウス 大槌 上開伊郡大槌町小槌21-12-2 第7仮設団地隣接地

釜石市

- 青葉公園商店街 石応善寺前 釜石市大只越町1-1-1
- 駒木山不動寺 釜石市駒木町5-23
- 三陸ふじのくに絆ハウス 鶴住居 釜石市鶴住居町15-23-1

大船渡市

- 三鉄綾里駅前 津波記憶石碑 大船渡市三陸町綾里宮野40-1

今回は慰霊碑が建っている、献花台が設置されているなど、被災地以外から来る人も訪れやすい場所を掲載（Stitch調べ）。ただし、地域の人に迷惑にならないか、などの心配りは忘れずに。駐車場のない場所も多く注意が必要だ。ほかにも津波を勧告する伝承碑や記憶碑が各所に設置されている。

また、震災を忘れない復興まちづくりも進行中。陸前高田市では一本松からタビック45までの区域を追悼・鎮魂・復興祈念のための場とする「復興祈念公園構想」が、釜石市でも「震災メモリアルパーク整備基本構想案」が進められている。

※2014年2月10日現在の情報です。

それぞれが感じる震災3年 震災から3年、今感じていることをメッセージで寄せてもらいました。

- A.W (盛岡市) 被災地から離れていても、これからもつながりを大切に応援していきたいと思っています。
- S.T (盛岡市) 震災による実害が少なかった自分は、今後「震災の風化」を助長しかねない立場にいる。気をつけねば。
- T.I (神奈川県) この1年、岩手が大好きな人ばかりに出会いました。鎌倉でも大勢の人が応援しています。



間瀬慶蔵さん

【びはんコーポレーション専務取締役】



「あの人に会いに、山田に行こう」そんなまちを、つくりたい。

あの日、山田のまちを襲った津波が、スーパー「びはんプラザ」にも押し寄せたのを、すぐそばの高台から見ていました。ほかの店舗や加工場なども全て流され、自宅も被災。それでも「このまちをなんとかしないと」。すぐにそんな気持ちがわき上がってきました。

まだ食べられるお菓子、飲料などを集め、避難所で配布。4日後にはがれきの中にテントを張り、営業を開始しました。びはんは「まちの台所」。そんな自負があります。だから、店を開けることでまちに貢献しよう、と思いました。

4月26日には仮設店舗がオープン。そして8月7日、被災した店舗の改修が終わり「びはんプラザ」が本格的に再開しまし

た。オープン当日、店の前には長い列ができ「国道はびはんの駐車場じゃねえ」って怒られたけど（笑）、「こんなにたくさんの人が再開を待っていてくれた」と実感して、うれしかったですね。

3年はすごく早かった。でも、まちの復興はまだまだこれから。うちの店だけ再開してもダメ。いろんなお店がまちにあって、それぞれが元気に営業していないと。だから今は「商店街をつくる」ことが目下の目標。「やまだ夢プロジェクト」というまちおこし集団のなかで、山田を元にするいろんな取り組みをしているところです。

建物などのハードはいずれつくられていく。大事な「その中身であるソフト、つまり「人」。「あの日に会いたいから、山田に行こう」。そんな気持ちで訪れてもらえるようなまちにしていきたい、と思っています。



清水卓さん

【青松館せせらぎ「椿油工房 気仙椿」担当】



復活した「椿油」を、気仙の文化として、未来につなぐ

「青松館せせらぎ」は、陸前高田市にある障がい者の就業継続支援事業所。2012年から、事業のひとつとして椿油の製造をおこなっています。

陸前高田をはじめとする気仙地域は、椿の群生地。かつてはその実を搾った椿油づくりも盛んでした。しかし徐々に製油所は減っていき、残ったのは「石川製油」1軒だけ。そんな石川製油も東日本大震災津波で被災。建物、機械もすべて流され、廃業を余儀なくされました。

一方、当施設は内陸部にあり、直接の被災は免れましたが、手がけていた事業が中断。新しい事業を模索していたとき、「気仙の伝統」が失われつつあることを知

り「精油技術を継承したい」と申し出ました。2011年秋から準備をすすめ、2012年春「椿油工房 気仙椿」が完成。椿油の製造と販売をはじめました。

私はこの工場の担当者として、石川製油代表の石川秀一さんに、実の選定から乾燥、搾油に至るまで、その技術を一から教わっているところ。地域の人たちが拾い集めてくれた椿の実を「余すことなく油にする」石川さんの技術は、決して一朝一夕に継承できるものではありませんが、少しずつ身に付けていきたい。そしていつか、次の世代に引き継いでいけたらと思っています。ふだんはとても優しい石川さんですが、仕事となるととても厳しい。「職人とは、仕事とはこうあるべき」を教えてくれるその背中に、いつも気持ちが引き締まります。

- H.M (花巻市) 内陸の私たちがあの日を忘れない為にできる事は全力で走り続ける事だと思ふ。何かに繋がる事を信じて。合掌。
- S.S (盛岡市) みなさまのご苦労や願いがひとつひとつ実を結びますよう、これからも共に復興について考えていきます。
- T.Y (岩泉町) 100年に1度の天災に遭ったのだから、100年かけてもう一度理想の「岩手」を作る気概で頑張ります。

三陸 美味しいもん紀行

ハイカラチキンカレー

750円

「瓦Re:KEY HOLDER」の収益の一部を利用して2013年にスタートしたコミュニティカフェのカレーは、パキスタンカレーをアレンジした本格派。スパイスの女王と称されるカルダモンにクミン、ブラックペッパーの粒が口いっぱい風に運ぶ。トマトベースと数種類のスパイスでホロホロに崩れるまで煮込まれたチキンは、素揚げした野菜とごはんに相性抜群。仮説とは思えないほどオシャレな店内でつろぎながら食べたいひと皿。



ハイカラごはん 職人工房
 ● 陸前高田市米崎町字盛の沢33-1 再生の里ヤルキタウン内
 ☎0192-47-5333
 🕒11:00~15:00
 17:00~21:00
 📅月曜

チキンと3種の粒スパイスで
香り広がる本格カレー



カレー南蛮(うどん・そば)

650円

まかないから口コミの評判で人気メニューになった百樹屋のカレー南蛮。湯気が立つほどあつあつのカレーは、震災前から変わらない特製和風だしに合わせ、舌で感じるほどスパイシーな辛さが自慢。玉ねぎと豚ばら肉が麺に絡みクセになる一杯。辛いのが苦手な人のために溶いた南部とりたまごとろりとのせた、まろやかな味わいの「くりーみーカレー南蛮」(700円) やテレビ番組から生まれた「納豆カレー南蛮」(770円) もおすすめ。



百樹屋
 ● 大船渡市盛町字内の目2-14
 ☎0192-26-5123
 🕒11:30~14:00
 17:00~21:00(L.O.)
 📅不定

後をひくスパイシーさが
自慢のあつあつカレー南蛮



三陸沿岸のあつあつスパイシーなカレーをご紹介します。
こだわりのスパイスが効いたひと皿を食べに行こう!!

ひょうたん島カレー

400円

鎌倉湘南の人気カレー店が復興支援のために大槌町へ移転。起業支援も兼ねたコミュニティスペースでお手頃価格のカレーを提供。辛さ控え目でしっかり煮込んだうまみたっぷりのカレールーに、大槌町蓬菜島をモチーフにした「ひょうたん島」型のライスが浮かぶ。トマトの酸味と野菜のコクが詰まったどんりゅう庵カレー(300円)と角切りお肉がゴロゴロ入ったポークカレー(300円)の2種類を同時に楽しめるお得なカレー。



湘南カレー どんりゅう庵
 ● 大槌町本町18 復興ふれあい広場
 ☎0193-55-5437
 🕒11:00~19:00
 📅日曜・祝日

2種類の味が楽しめる
具沢山なお得カレー



スリランカ風シーフードカレー

900円

独自に配合したスパイスが効いたトマトベースのカレールーが絶品。シーフードは、イカ、エビ、ホタテ、ムール貝をバターとエシャロットで炒め、仕上げに白ワインで香りづけ風味をプラス。付け合わせはサラダと日替り自家製シャーベット。辛さは6段階から選べる。大きめのチキンがのったスリランカ風チキンカレー(900円)、とろとろに煮込んだポークが自慢の欧風ポークカレー(800円)も人気。



あゆとく
 ● 釜石市上中島町1-1-35
 ☎0193-23-5099
 🕒11:00~21:00
 📅月曜

白ワインで香りづけした
シーフードが相性抜群

それぞれが感じる震災3年 震災から3年、今感じていることをメッセージで寄せてもらいました。

- M.O (盛岡市) 初夏に沿岸らあめツアーに行きます。3日間で15杯が目標。色んな方と未来につながるお話がたくさんしたい。
- H.T (栃木県) 人の役に立つ人間になりたい。生きている限り頑張りたい。三陸沿岸の皆さんをずっと応援していきます。
- M.T (滝沢市) ようやく新しい街ができたね。そういえるようになるその日まで風化なんかさせない。

- Y.S (盛岡市) 今度友達連れてみんなで三陸の美味しいものを食べに行きます! 待っててください!
- K.O (東京都) 6月に、三陸鉄道(北)で「うたごえ列車」に取り組みます。東京からも大勢参加します! 忘れない! 震災。
- T.M (盛岡市) 盛岡で学ばれている沿岸からの学生の皆さんに、良い盛岡の思い出をたくさん作って頂ければ嬉しいです。

銀次

[プロ野球選手]

東北を、被災地を勇気づけたい。
そのためには優勝しかない。
そんな気持ちでいつも
試合に臨んでいました。

球団創設9年目にして、悲願の日本一を達成した東北楽天ゴールデンイーグルス。チームの躍進ぶりは、復興なかばの東北を盛り上げ、勇気と感動を与えてくれました。なかでもめざましい活躍ぶりをみせてくれたのが、岩手出身の銀次選手。今回のStitchは、日本一に輝いたチームの3番打者にインタビューです！

Stitch(以下S) まずは、2013年の日本一、おめでとうございます！

ありがとうございます。チームとしてはこれ以上ない成績を残すことができました。自分的にも初の3割(打率3割1分7厘)を打てたのでよかったですと思っています。欲をいえば、(首位打者など)タイトルを獲りたかったなあと。

S 日本リーグ最終戦でジャイアンツに勝利。優勝が決まったあと、星野監督に抱きついて泣いている姿が印象的でした。

ずっと、監督を「日本一の監督」にしたいと思ってたんです。リーグ優勝のときは(監督の元に)行かなかったので、



日本一になったら行く、って決めてました(笑)。でも自分も周りも興奮状態で……。監督の「よくやった」という声しか聞こえなかったです。

S 銀次選手にとつて、星野監督はどんな監督ですか。

自分を育ててくれた恩人。親父みたいな存在っていうか……。毎日すっごい怒られるし怖いんですけど(笑)、そこに愛情を感じて受けとめています。ユニホームを脱ぐととても優しい人。ああいう男になりたい、って思います。

S 日本シリーズの第6戦は2-4で敗れ、連勝を更新してきた田中将大選手の記事が30でストップとなりました。3勝3敗で最終戦へと臨んだとき、どのような気持ちでしたか。

観ていてくださった人たちは「これは

ヤバイ。楽天負けるかも」って思ったかもしれません。チームの雰囲気は全然こたえてなかったですね。「大丈夫っしょ。明日は勝てるって」みたいなことをロッカーで言っていました。

S 楽天イーグルスの快進撃、そして日本一は、本場に東北を盛り上げ、勇気や希望を与えてくれました。優勝パレードもものすごい人だかりでしたね。

優勝パレードに集まってくれたたくさんの人を見たとき「ああ、優勝したんだ」って初めて実感した気がします。沿道から「おめでとう」だったり、「ありがとう」って言葉をたくさんもらって……。[こちらこそ、応援してくれてありがとう]っていう気持ちでいっぱいでした。

S 2006年に入団した銀次選手ですが、一軍で活躍する機会が増えてきたのは2011年シーズンあたりから、という印象があります。5年間の努力が実ったのももちろんですが、あの震災があったことで、銀次選手にプラスαの力が備わったのかな、という気がするのですが。

それはすごくあると思います。被災地の人たちや復興のために自分ができることって、そんなに多くないじゃないですか。自分が力になれること、って考えたら、野球を精一杯頑張るって優勝するしかない。それで少しでも元氣や勇氣を届けることができたらって思いながら毎日試合をしていました。自分は岩手出身なので、余計にその気持ちが強い。

■ 銀次選手にとって岩手はどんな場所ですか。

自分を強い身体に育ててくれたところ。感謝していますし、愛しています。

■ 日本シリーズの時は、被災地の仮設住宅でもたくさんの方がテレビの前で応援していて、すごく盛り上がったって聞きました。

(うれしそうに) 本当ですか？ だもしたらすごくうれしいです。自分たちが活躍することで、被災された人が少しでも元氣になってくれたらなって、それが自分の使命だと思ってシーズンを戦ってきたので。そうですか……本当にうれいです。

■ 大谷翔平選手や菊池雄星選手との「岩手対決」も、岩手県民にとっては楽しみです。

昨シーズンの大谷選手との対決では三振しちゃいました。やっぱり球が速かったですね……打てると思ったんですが(苦笑)。でも、負ける気はしません！ 今度は必ず打つつもりで、今年も「岩手対決」を楽しみにしています。

■ 岩手出身のプロ野球選手が活躍するのを見て、「自分もプロに」と頑張っている子どもたちもたくさんいると思います。そんな野球少年たちにアドバイスするとしたら？

たくさんご飯を食べて、たくさん練習

■ まもなく2014年のシーズンが始まります。岩手のみんなが銀次選手の活躍を期待して、楽しみにしていると思います。今シーズンに向けた目標はありますか。

去年ジャイアンツが成し遂げられなかった2連覇を達成すること。そしてまた楽しいビルかけをしたいです(笑)。個人的にも去年以上に打率をさらに上げて、首位打者、ゴールテンクラブ賞などのタイトルを獲得したい。将来的には、この球団をひっぱっていきけるような選手になりたいです。

■ 5月18日には岩手県営球場でも試合(西武ライオンズ戦)がありますね。

高校時代も含めて、自分は県営(球場)でホームランを打ったことがないんです。だから県営でホームランを打つ、そしてお立ち台(ヒーローインタビュー)に立つ。それを岩手での目標にします！
■ 普代村の中学校を卒業後、盛岡の高校(盛岡中央高校)に進学。3年間野球に明け暮れる毎日を送っていたと思いますが、高校時代の思い出の場所を教えてください。

して、たくさん努力して……ですね。いつか、この球団と一緒に野球できる日が来たらいいなと思います。

■ 最後に、このインタビュアーを読んでくれる岩手のファンにもメッセージをお願いします。

震災の記憶は、一生忘れちゃいけないことだと思っています。今も苦しい思いをしている方がたくさんいらっしゃるかもしれない。野球しかできない自分は、精一杯野球を頑張る、活躍することでもっともっと岩手の人を楽しませたり、元氣づけたりしていきたいと思っています。これからも応援してくれたらうれいです。

えてください。

(少し考えて) じゃじゃ麺をよく食べに行きました。今はもうなくなっちゃったんですが、「ぼんだ」っていうお店で。学校から近かったたので、部活帰りによく食べに行っていました。

■ プロになった今、オフなどで盛岡に来た時、いつも行く所はありますか？

高校時代の監督(佐々木大介野球部監督)のところによく行きます。プロを本気で目指すきっかけをくれた、今の自分を作ってくれた人です。盛岡に来たら、監督に会いに行つて、野球の話をして……そして、帰ります(笑)。

■ 近年、岩手からたくさんの方のプロ野球選手が誕生しています。岩手出身の先輩選手として思うことはありますか。

すごくうれしいですね。毎年ドラフトに岩手出身者の名前が挙がるようになって……。一緒に野球をやりたいって気持ちがあります。楽天にも入って来てくれるとうれしいですね。岩手出身の選手として、一緒にチームや東北を盛り上げていけたらなって。

岩手は、
自分を強い身体に育ててくれたところ。
感謝しているし、愛しています。



銀次 [ぎんじ]

1988年生まれ。普代村出身。祖父の影響で野球を始め、小学校3年生から地元の野球少年団に入団。普代中学校を経て盛岡中央高校に進学し、1年からレギュラーに。3年の夏の岩手県大会で打率.750、決勝戦では4打数4安打という成績を残すも、甲子園出場はかなわず。しかし高校生ドラフト会議で3巡目指名を受け、2005年、東北楽天ゴールデンイーグルスに入団。2011年シーズンから一軍で活躍する機会が増え、2013年は3番・ファーストに定着しチームの中心選手に。球団創設9年目でのリーグ優勝、日本一に貢献した。2013年の成績は打率.317(リーグ4位)。背番号33。

「未来へ届ける歌」



震災から3年、盛岡広域8市町の企画として生まれた「未来へ届ける歌」。制作にかかわった方々に、歌ができるまでのエピソードや、そこに込められたさまざまな思いを伺いました。

作曲担当柴田誠太郎さん(左) 奥州市出身24歳、いわてフィルハーモニーオーケストラ所属、全日本作曲家コンクール入選経験もある若手作曲家。作詞担当菅野創一郎さん(右) 福島県会津若松出身25歳、盛岡を中心に活動するシンガーソングライター。

震災を経験した私たちが
今感じていることを言葉に

震災から3年の節目に、沿岸と内陸の絆を感じられるようにと願いをこめて作られた「未来へ届ける歌」。2014年3月11日、盛岡市民文化ホールで行われる盛岡広域8市町合同東日本大震災3周年行事「復興への誓い」で披露されるこの歌は、市民の「今、伝えたい言葉」から生まれました。

感謝「受験に向かう
先輩へ応援する言葉」
亡くなったおば

あちゃんへのごめんね、それが伝えたい思いを言葉に表しました。メッセージを発表してお互いの気持ちを共有したワークショップの最後には、作詞担当の菅野創一郎さんがビートルズの「Let it be」に乗せて、参加した高橋永さんの書いた歌詞を即興で歌いました。「人に(自分の気持ちを)話すことはないので歌を通して言葉にすることができて良かったです」と高橋さん。

盛岡広域8市町の住民を対象に歌詞制作のためのワークショップを開催、一般からの公募も集まり約50通のメッセージが寄せられました。歌詞制作ワークショップに参加した矢巾北中学校特設合唱部の生徒たちは「今、伝えたい言葉」をテーマに、「家族や友人への

菅野さんは、「お母さんへ『ありがとう』の一言も中学生の子が言うからいろんな意味が含まれています。それをただ文字に入れても伝わりません。『ありがとう』に込めた思いを別な言葉で落とし込んで歌詞にしたいと思っています



矢巾北中学校特設合唱部と菅野さん、最後はみんなで「Let it be」の曲に合わせて即興で出来た歌を合唱。

す」と、サビには集められたメッセージの気持ちを伝える言葉を、Aメロには情景を思い浮かべられるような言葉を並べました。

「ワークショップの中で最近父親を亡くした高校生が『もっと会話をしておけば』という後悔を話していました。被害を受けた人にもきっとそういう気持ちがあつて、その気

持ちを含めてまだ終わつたわけじゃないと感じました。この曲は震災を忘れさせない、風化させないということがテーマだと感じています。前向きな形で『これからよくなっていくんだ』という気持ちになれる歌詞になれば」と歌詞づくりへ思いを込めます。

紡がれた言葉を伝える メロディと歌

岩手から羽ばたこうとする若手作曲家柴田誠太郎さんが作曲を担当。震災3年の節目に披露される曲を作るにあたり「おおらか」「あたたか」「前向き」のイメージをテーマに制作。最初に制作した1曲目は、「自分の足元を見つめたような暗い曲になってしまった」と振り返ります。制作に悩んだ

柴田さんは寄せられた「今、伝えたい言葉」のメッセージを読む中でお年寄りが子どもたちに向けておくれた「自分の事はもういいから子どもたちは夢を持っていいんだよ」という未来に向けての一言が心に刺さりました。「こんなふうに考えているなんて思わなかった」と衝撃を受けて作った2曲目は、横に広く豊かな水平線の向こうから光があふれてくるイメージ。明るくテンポも良く希望に満ちた子どもたちの声が聞こえてきそうなサビ、抑揚をつけた静かな場面と流れのある曲に仕上がりました。

「曲を聴いてくれた人が、もうちょっと復興支援を頑張ろう」と復興支援を頑張ろうという思いを込めた曲は、もりおかじユニアオーケストラの演奏、県立不來方高校音楽部の合唱と宮古市観光大使を務める民謡歌手小田代直子さんの歌声で完成します。岩手の若い才能を集集して作られたこの歌は、復興の未来へ導く歌としてこれから輝きます。

それぞれが感じる震災3年 震災から3年、今感じていることをメッセージで寄せてもらいました。

- M.K (長野県) 東日本大震災はテレビで見ても怖さわかりました。私も精一杯の支援をします(軽井沢中)
- S.K (長野県) 震災から約3年、3年たった今もまだ行方がわからない方々が大勢いてとても悲しいです(軽井沢中)
- A.S (長野県) 自分的には3年たったのに復興があまり進んでいないと思うので、復興支援など自分ができることをやっていきたいです(軽井沢中)
- A.K (長野県) 私たちの学校では資源回収を復興支援として行っています。これからも資源回収を行い少しでも力になれば(軽井沢中)
- J.H (長野県) 復興がまだ十分に進んでいないと思いますが、僕も出来ることからやってきたいと思います(軽井沢中)
- A.K (長野県) 岩手日報を使って大槌町のことを軽井沢中の人に知ってもらっています(軽井沢中)

楽天ランキング
ロールケーキ部門
8年連続第1位
(2006~2013)



花月堂のギフト

PRINTEMPS NOUVEAU
プランタンヌーボー

こだわり抜いて認めたフルーツ
だけを、たっぷり限界まで巻く
ことにより、ロールケーキなのに
果物を食べているような食感。
カットする度に宝石のように輝く
フルーツが現れて、新しい感動を
お届けします。

VI Pâtissier
KAGETSUDO

総本店/盛岡市天神町8-27 TEL019(651)1155(代)
盛岡フェザン店/TEL019(654)7171
月の座/盛岡市乙部26-77-15 TEL019(696)3370

PRINTEMPS BLANC by KAGETSUDO
[プランタンヌーボー]
P.B. CAFÉ by KAGETSUDO
[ビー・ビー・カフェ]
盛岡市南大通2-9-2 TEL019(613)8220

<http://www.kagetsudo.co.jp>

IGR いわて銀河鉄道不動産
岩手県知事(2)第2352号 (公社)全日本不動産協会会員 東北地区不動産公正取引協議会加盟

「安全第一」★
鉄道会社の不動産

まずは Web で… **IGRの不動産** **検索**

盛岡市盛岡駅前通 1-48 (IGR盛岡駅・待合室内)
営業時間 9:00 ~ 17:00(水曜定休 ※3月中は毎日営業)
TEL 019-651-0999

創業明治36年

あなたのそばにもっと身近に

盛岡信用金庫
<http://www.morishin.co.jp/>

朝日新聞サービスアンカー

ASA 株式会社 **東北堂**

〒020-0878 岩手県盛岡市肴町3番21号
TEL 019-624-2413 FAX 019-622-3699

朝日新聞 日本経済新聞 日刊スポーツ 盛岡タイムス

ステラモンテ 多国籍料理と
自家醸造のクラフトビール

歓迎迎会 プラン あさ開の地酒で楽しい夜を…!

盛岡市内バス無料送迎付

お1人様 **4,000円**~
※20名様以上 1日1組限定
要1週間前予約

TEL: 019-624-7206
住所 盛岡市大慈寺町10-34 (あさ開敷地内)
営業時間 11:30 ~ 15:00 / 17:30 ~ 22:00

「式はしないけれど、写真だけでも残したい方へ」

フォトウェディングプラン
65,000円

内容
ウェディングドレス/タキシード/ヘアメイク
写真6切1ポーズ1冊

BRIDAL HOUSE SOBI ブライダルハウス SOBI
盛岡市門2-16-1 TEL.019-651-7324
<http://www.bridal-sobi.co.jp>

春のプレミアムバイキングプラン

東北産最高級 A5 ランク黒毛和牛すき焼き
& 勝手ちらし寿司食べ放題

2014年 3月1日(土) ~ 5月31日(土)

森の風 11,000税別
TEL 019-695-3333
岩手県岩手郡平石町寛宿10-64-1 URL <http://www.morinokaze.com>

BAEREN

岩手のビール、ベアレン。

2013年度 おかげさまで
岩手県内全市町村イベント達成!

<http://baeren10th.com>

車両稼働台数盛岡最大級!!
エコなハイブリッド車配備

急な飲み会でも安心!
中央タクシーの
運転代行サービス
運賃+1,000円で
ご利用できます

GPS配車でどこへでもいち早くまいります
ケータイ フリーダイヤル レッツゴー ハローハロー
からでも

0120-05-8686

岩手中央タクシー 本社/盛岡市開運橋通3-38

1 岩手三陸釜石鮭三撰

6名様

釜石・大槌産の鮭を使った「鮭しぐれ煮」「鮭の粕漬焼」「焼鮭ほぐし」のこだわり3本セットを6名様に。



提供 / 双日食料水産株式会社

3 ラフぶる〜ん

3名様

特集で紹介した「Laugh」で企画販売。ぶるぶるした質感で神田葡萄園（陸前高田市）のぶどうエキス入り無添加の肌に優しい石鹸を3名様に。



提供 / Stitch編集部

5 ポストカード3枚組

2名様

岩手県宮古市出身の人気イラストレーター・タカミヤユキコさんの、「いわての学び希望基金」への寄付つきポストカード3枚組を2名様に。



提供 / もりおかクリエイティブ・ラボ

応募方法

- 応募方法 / 必要事項 (希望商品、郵便番号・住所、氏名、年齢、性別、職業、電話番号、本誌入手場所、ご意見・ご感想) を記入の上、はがき、もしくはメールでご応募ください。
- 宛先 / 〒020-0871 岩手県盛岡市中ノ橋通1-1-21 ラヂオもりおか内「Stitch」編集部 プレゼント係
- アドレス / stitch@morioka-fukkou.com
- 応募締切 / 平成26年4月30日必着

読者プレゼント

復興応援をしているお店や企業や団体の、おいしい逸品からオリジナルグッズまで。みなさまへのプレゼントとしていただきました! ご意見ご感想をご記入の上、ぜひご応募ください!!

2 ご当地しぼり

2名様

岩手盛岡広域圏の特色フルーツを使ったご当地ドリンク。「りんご」「ラ・フランス」「洋なし」「山ぶどう」「ブラックベリー酢」5種類セットで2名様に。



提供 / 岩手志援株式会社

4 瓦RE:KEY HOLDER

3名様

雇用支援プロジェクトとしてスタートした陸前高田市のカラフルな瓦礫で作られたキーホルダーを3名様に。※色は編集部にお任せください。



提供 / Stitch編集部

6 山田の醤油

5名様

岩手県山田町の定番人気・びはん「山田の醤油」。白身魚のお刺身によく合うお醤油の使いやすい卓上サイズ100ml入り1本を5名様に。



提供 / もりおかクリエイティブ・ラボ

Re:Stitch

～読者のみなさんから～

Stitch (ステッチ) に寄せられた声の一部をご紹介します。みなさんのご意見を参考に、よりよい誌面づくりに取り組んでいきます。これからもご意見・ご感想よろしくをお願いします。

浅沼ミキ子さんの2年の歳月をかけて出版された「ハナミズキのみち」を拝見して感じました。津波を体験された方々は言葉にならないほどの深い悲しみを体験されている事を…。大切な「いま」も「ハナミズキのみち」も未来へ導いてくれる「みち」である事を本誌のなかから学びました。

●30代 女性 / 会社員(盛岡市)

初めてStitch見ました! 秋田は震災の被害は少なく正直地震のことは遠い出来事になってしまった感がありました。今回Stitchを読んで、まだまだ被害が続いている。心の傷と土地の問題、仕事の片寄り…などとても興味深く読みました。同じ日本なのに別世界のような出来事…。今私にできることは現状を知ること。被害が少ない人たちにこそ、読んでほしいと思いました。

●30代 女性 / 会社員(秋田県)

恥ずかしながら私は震災後、沿岸に行った事が無く、仕事柄時折沿岸に行く主人からいろいろ話を聞いております。私自身もぜひ沿岸に足を運びたいなあ、と思いが強くなりました。なかなか進まない復興ですが、少しでも後押し出来る事はないか、考えていきたいと思えます。これからも応援しています。

●30代 女性 / 会社員(盛岡市)

意見、感想、いつも読んでいます。さまざまな記事があり、いろいろなことを知れて良いです。もっと頻繁に発行してほしいです。これからも楽しみにしています。

●10代 女性 / 学生(盛岡市)

初めて手にとりました。毎年2〜3回岩手大学に出張があり、その度に美味しいものを頂いています。盛岡はじゃじゃ麺やわんこそば、冷麺だけでなくラーメンのレベルも高いと思います。私のような旅行者にも有効な情報誌だと思います。

●40代 男性 / 会社員(神奈川県)

震災3年ですね。私も親類や友人を訪ねて被災地を訪れるのですが、現地で支援活動している人たちの頑張りを目にします。いつも心強い思いで帰ってきます。本当にご苦労様です。Stitchを拝見し正しい情報と考え方を学んでいます。復興の真の姿をみるような思いです。

●50代 女性 / 主婦(盛岡市)

大槌のページの「誰か」ではなく「自分たちが」関わる町づくりという言葉にハッとしました。夏に娘がしえあハート村でダンスを発表してきました。私たちなりに応援できること、やれることを考えて、子どもたちにも伝えていければと思います。

●30代 女性 / 主婦(盛岡市)

お正月45号線を南下して被災者であり、現在被災地大槌町に居住している息子のところに行く途中、道の駅みやこで本誌を入手して読みました。もりおか発信の復興応援フリーマガジンのようですが、読み応えのある内容ですね。特集特に良かったです。毎号楽しみにしたいと思います。

●60代 男性 / 無職(青森県)

全国にStitchを広めようプロジェクト!



Stitchの配布にボランティアで協力してくれるサポーター(個人、企業・団体)を随時募集しています。Stitchを全国に広めることで、少しでも震災の風化を防ぎたい! みなさんのご協力、お待ちしております。(年4回発行 / 6月、9月、12月、3月)。

A Stitch配布サポーター [一口10部から] ご近所やお友達、グループなどにStitchを配布していただける個人。

B Stitch サポーターショップ・団体 [一口30部から] Stitchを設置していただけるお店、企業、団体。

※詳細は、HPまたはFacebookページ (<https://www.facebook.com/moriokastitch>) をご確認ください。

【募集方法】メール・はがきに ①氏名 (Bの場合は企業・団体と代表者名) ②住所 (郵便番号も) ③電話番号 ④メールアドレス ⑤希望口数 ⑥(Bの場合) 設置予定の場所と方法 ⑦ご意見・ご感想を記入の上、ラヂオもりおか内「Stitch編集部」サポーター係宛てに応募。

【応募先・問い合わせ】stitch-supporter@morioka-fukkou.com ※郵送先住所は、左側のプレゼントページを参照

Stitch 設置場所

【岩手県内・盛岡】MOSS / クロステラス盛岡 / 盛岡南SCサンサ / ななく / おでっ / アイーナ / 盛岡バスセンター / IGRいわて銀河鉄道 / もりおか歴史文化館 / 岩手県立図書館 / 盛岡市立図書館 / ジョブカフェいわてなど街中各店 / 岩手県内道の駅 / 三陸沿岸各店 【岩手県外】いわて銀河プラザ(東京) / もりおか復興ステーション(東京) / Cafe Hi famiglia(東京) / さくらWORKS <関内> (神奈川県) / 喫茶ともしび(東京) / Rumble and Jungle(北海道) / 風の駅(京都) / OMAR BOOKS(沖縄) 他

それぞれが感じる震災3年 震災から3年、今感じていることをメッセージで寄せてもらいました。

- M.H (福島県) 震災を経験して各地の災害に関心を持つようになった。同じ悲しみを味わう人が減るよう震災の教訓を生かしたい。
- R.K (盛岡市) 沿岸のみなさんの踏ん張りや頭に下がる思いでいっぱいです。これからも応援します!
- M.H (神奈川県) 断面がハート形で愛おしい「和胡桃」の活用を通じて、皆様とつながりたいです。横浜より心をこめて。

- R.Y (盛岡市) 震災直後、瓦礫の中を進むバスの中で高校生が勉強するのを見て、前を向かなければと思いました。
- N.K (八幡平市) 関東にいと復興は進んでいると思われがちで、東北との震災の温度差についても驚く。
- M.S (奥州市) 誰かの幸せを願い、何ができたか考えたあの日。今も助けを求めている人たちに私たちは忘れていないだろうか。